

平成 29 年 8 月 22 日

平成 29 年度 青少年創造性開発育成海外交流派遣団について

公益社団法人発明協会

公益社団法人発明協会は、去る 7 月 26 日（水）～30 日（日）まで、「平成 29 年度 青少年創造性開発海外交流派遣団」を結成し、愛知県名古屋市内に派遣した。

同派遣団は、第 74 回、75 回全日本学生児童発明くふう展、第 6 回、第 7 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト及び第 38、第 39 回未来の科学の夢絵画展において優秀な成績を収めた 20 名及び当協会役員により構成され、7 月 27 日（木）～29 日（土）まで開催された「2017 年 世界青少年発明工夫展」(IEYI2017)に参加することを目的として結成された。

7 月 27 日には会場となる「ポートメッセなごや」第 5 会議室において結団式が行われ、扇谷常務理事から委嘱状が交付された。また、団員最年長の大平隆史君が派遣団を代表し、「たくさんの人とのコミュニケーションや文化の交流により一人の人間としてより成長することに努力したいと思います」と決意の言葉を述べた。



結団式。大平隆史君による決意の言葉（左）と全員での記念撮影（右）

その後、展示会場である第 2 展示館において、各作品のブースセッティングを行い、各自英語で作成した作品説明用の資料を準備したほか、折り紙や日本文化を表現したイラストなど思い思いのアイテムでブースの装飾を行った。

展覧会初日となる 7 月 27 日には、主催の野間口発明協会会長、共催の大村愛知県知事、河村名古屋市長、石丸愛知県発明協会会長出席のもと、開会式が挙行された。同日 10 時より開場となった展示会場には 15 か国・地域から出品された 159 作品が展示された。



挨拶を述べる大村愛知県知事



開会式の様子

会場において、日本団員は、来場者や審査員への作品説明や、各国出展者とのコミュニケーションなど、多くの人たちとの交流を積極的に行った。特に、審査員への作品説明は英語が必須であるため、事前に用意していた英文のメモを読むなど苦勞している様子が見られたが、繰り返し説明を行うことで、より分かりやすい説明を、自信をもって行えるようになっていった。「だんだんと英語で話すことになって、ジェスチャーも交えながら自分なりに説明でき、自信がつくようになりました」との感想もあり、初日こそ慣れない英語でのコミュニケーションに戸惑っていた団員たちも、他国の出品者たちと積極的に会話をするなど、会場全体の雰囲気を楽しむ余裕も見られた。

なお、今回の世界青少年発明工夫展は、「あいち発明の夏 2017」のイベントの1つとして開催され、世界展と同会場で開催された「ロボカップ 2017 名古屋世界大会」への参加者・見学者も多く来場し、国際色豊かな大会となった。



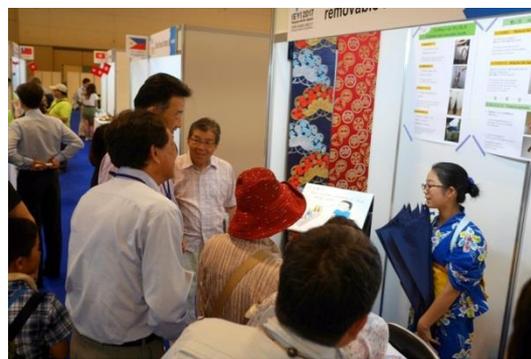
展覧会場入口



日本ブースを視察する河村名古屋市長と質問に答える清水、中村、内田団員



作品を説明する小柳団員



作品を説明する堀田団員



作品を説明する山崎団員



取材を受ける太田団員



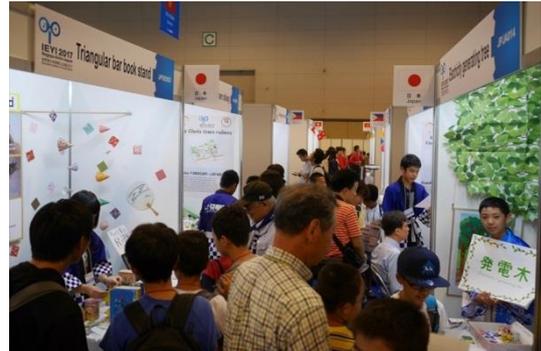
各国ブースを見学する日本団員



各国の参加者と記念撮影



来場した派遣団 OB との記念撮影



日本ブースの様子

発明工夫展最終日の 29 日には表彰式が行われ、成功裏に幕を閉じた。日本代表は、金メダル 3 作品、銀メダル 2 作品、銅メダル 8 作品、各国特別賞 8 作品（各メダルとの重複含む）と、全作品が受賞するという目覚ましい成果を収めることができた。



表彰式の様子



バトンタッチセレモニー



受賞後の記念撮影

受賞結果

【金メダル】

Education & Recreation 部門

堀田 小春 (トッテトレール・アンブレラ)

Technology for special Needs 部門

尾野 宏多 (レバー式車イス)

太田 匠郎 (ママも安心、自動ブレーキ付きベビーカー)

【銀メダル】

Education & Recreation 部門

佐藤 夢 (ブックスタンド・トライアングルバー)

Artwork 部門

松永 悠伽 (DNA ねんど)

【銅メダル】

Education & Recreation 部門

大槻 紘生 (テープ革命)

國山 祥太郎 (置かずに計れる計量カップ)

小柳 和季 (夏の大三角形を探せ!!～松戸プラネタリウム～)

彦坂 萌々花・桑原 彩奈・藤原 実紅 (凧上げ)

Technology for special Needs 部門

大平 隆史 (パソコンキーボード併用 キー入力支援装置)

Artwork 部門

山内 悠友 (発電木)

伊瀬谷 芽生 (手話電話機)

秋山 春菜 (会話が見えるメガネ)

【中国特別賞】

山崎 秀馬 (ぼくの長府鉄道)

【香港特別賞】

工藤 万幸 (鍵閉め忘れ防止装置)

【インドネシア特別賞】

工藤 万幸 (鍵閉め忘れ防止装置)

【マカオ特別賞】

清水 智也・中村 瑠晏・内田 晴之 (BEM VINDO AO BRASIL (Welcome to Brazil))

【ロシア特別賞】

山内 悠友 (発電木)

【シンガポール特別賞】

工藤 万幸 (鍵閉め忘れ防止装置)

【台湾特別賞】

山崎 秀馬 (ぼくの長府鉄道)

【タイ特別賞】

佐藤 夢 (ブックスタンド・トライアングルバー)

世界青少年発明工夫展 2017

- (1) 主催
公益社団法人発明協会
- (2) 共催
愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県発明協会
- (3) 後援
文部科学省、特許庁、世界知的所有権機関日本事務所、
中部経済産業局、中日新聞社
- (4) 開催場所
ポートメッセなごや（愛知県名古屋市港区）
- (5) 展覧会開催期間
平成 29 年 7 月 27 日（木）～29 日（土）
- (6) 参加国・人数
15 か国・地域（159 作品、246 名）
中国、香港、インド、インドネシア、イタリア、日本、韓国、マカオ、マレーシア、
フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

青少年創造性開発育成海外交流派遣団

第 74 回全日本学生児童発明くふう展受賞者

- 太田 匠郎（内閣総理大臣賞：愛知県立刈谷工業高校 1 年）
佐藤 夢（特許庁長官賞：町田市立鶴川第二中学校 3 年）
山崎 秀馬（発明協会会長賞：下関市立長府中学校 1 年）
堀田 小春（日本弁理士会会長賞：豊田市立逢妻中学校 2 年）
國山 祥太郎（毎日新聞社賞：埼玉県立川越工業高等学校 1 年）

第 75 回全日本学生児童発明くふう展受賞者

- 大槻 紘生（内閣総理大臣賞：町田市立金井中学校 2 年）
工藤 万幸（文部科学大臣賞：東京都立狛江高等学校 1 年）
小柳 和季（経済産業大臣賞：松戸市立第六中学校 3 年）
大平 隆史（特許庁長官賞：福島県立郡山北工業高等学校 3 年）
尾野 宏多（WIPO 賞：岐阜市立青山中学校 1 年）

第 6 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 文部科学大臣賞（3 名チーム）

- 彦坂 萌々花（国立沼津工業高等専門学校 2 年）
桑原 彩奈（県立豊橋南高等学校 1 年）
藤原 実紅（豊橋市立南陽中学校 3 年）

第 7 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 文部科学大臣賞（3 名チーム）

- 清水 智也（刈谷市立衣浦小学校 5 年）
中村 瑠晏（刈谷市立衣浦小学校 5 年）
内田 晴之（刈谷市立衣浦小学校 5 年）

第 38 回未来の科学の夢絵画展 受賞者

伊瀬谷 芽生 (文部科学大臣賞：十和田市立東中学校 2 年)

山内 悠友 (経済産業大臣賞：砥部町立砥部中学校 1 年)

第 39 回未来の科学の夢絵画展 受賞者

松永 悠伽 (文部科学大臣賞：静岡市立蒲原西小学校 4 年)

秋山 春菜 (経済産業大臣賞：由利本荘市立矢島小学校 6 年)

※本事業は、競輪の補助を受けて実施しました。



以上